

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
エンタテインメント2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	広瀬 眞之			実務経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
ジャズギタリスト、コンポーザー。1979年にCBSソニーからレコードデビュー。1989～90年渡米。帰国後はDAW分野でも活動を始めナンジャタウン音楽、TV番組音楽などを制作。近年はcotoricoプロジェクトや自社レーベル運営などプロデューサー活動も多い。著書に“ジャズ100年史”“Professional MIDI Tips100”など。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、1週間の中でアンサンブルをしてきた楽曲を録音し、ミックスする。マイクログフォンの基礎知識やドラムセット等へのマイキング 基礎テンポに合わせて演奏することから、望む音質・バランスを各楽器で試し、演奏技術の向上には欠かせない録音作業の経験を積むことにより、演奏者としての総合力を向上させる。											
到達目標											
受講学生は、録音作業だけでない音源の完成へのプロセスを学び、個々の行った録音音源の完成を目指す。ProToolsソフトと使用し編集ウィンドウとインストゥルメントトラックと作成する。担当バンドの学生はレコーディング、その他の学生は録音スタッフとして活動し、マイキング、ソフトオペレート等も学習していく。											
授業方法											
この授業では、1週間の実習の中で演奏している楽曲、様々なジャンルで、いろいろな録音作業の実習を積み重ねることを主眼とし、グルーブ感など音に対する反応や、音質・バランスなどの繊細なコントロール等を把握していく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
受講学生全員が同時に録音作業できるわけではなく順番に数人ないしは一人一人の作業となるので、作業中でない学生も常にマイキング、ソフトオペレートなど、スタッフワーク等で学習を続けること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	DAWの基礎的な使用方法。vocalマイキング基礎知識										
第2回	ディレクションの方法基礎。vocal mix基礎編										
第3回	状況に応じた様々なレコーディングの学習～バンド一発録り										
第4回	状況に応じた様々なレコーディングの学習～楽器別録り										
第5回	状況に応じた様々なレコーディングの学習～仮うた有り										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
エンタテインメント2	
第6回	各グループで完成を目指す楽曲を決定してレコーディング作業に臨む。担当グループはレコーディング
第7回	バンドでオリジナル楽曲や課題楽曲を選定
第8回	バンドはオリジナル楽曲を演奏しレコーディングを行う
第9回	演奏者以外は録音スタッフとして活動し、マイキング、ソフトオペレート等を学習する
第10回	レコーディングを行った音源を聴き直し撮り直し箇所を確認
第11回	録りなおした箇所を修正し、希望に近い状態の音源を作成する
第12回	仕上げ作業1～ProTools編集ウィンドウ上での各トラック別に必要な設定・整理作業1
第13回	仕上げ作業2～ProTools編集ウィンドウ上での各トラック別に必要な設定・整理作業2
第14回	仕上げ作業3～mix作業1
第15回	仕上げ作業4～mix作業2 完全パッケージ